

氏名(所属)	格付け (ムーディーズ型)	I 米金融崩壊の予測				II 日本経済の浮沈予測			
		01~	03~	07~	一貫	01~	03~	07~	一貫
菊池英博 (日本金融財政研究所長)	Aaa					+1	+1	+1	+2
小野善康 (大阪大学社会経済研究所長)	Aaa	+2	+1	+1	+1				
小林慶一郎 (経済産業研究所上席研究員)	Aaa								
金子勝 (慶應義塾大学教授)	Aaa		+2	+1	+1	+1	+1	+1	+1
J・スティグリッツ (コロンビア大学教授)	Aaa	+1	+1	+1	+1	+1		+2	+1
榊原英資 (早稲田大学教授)	Aaa	+1	+1	+2	+1	+1	0	+2	+1
R・クー (野村総研主席研究員)	Aaa		+1	-1		+1	-1		
竹森俊平 (慶應義塾大学教授)	Aa1		+1	+2	+1				
渡辺喜美 (衆議院議員)	Aa3			-1	-1			+1	
水野和夫 (三菱UFJ証券チーフエコノミスト)	A1	+1	+1	0	-1	-1	0	+1	-1
岩田規久男 (学習院大学教授)	A2								
野口悠紀雄 (早稲田大学大学院教授)	A3		-1	-2	-1	+1	+1	+1	+1
嶋中雄二 (三菱UFJ証券景気循環研究所長)	Baa1	-1	+2		+1	+1	-2	-1	-1
伊藤元重 (東京大学大学院教授)	Baa2							+1	
原田泰 (大和総研チーフエコノミスト)	Baa3	+1	+1		+1	+1	-2		-1
若田部昌澄 (早稲田大学教授)	Baa3			+1				-2	
池尾和人 (慶應義塾大学教授)	Ba2	-1		-2	-2				
高橋洋一 (東洋大学元教授)	B3								
中谷巖 (三菱UFJ証券チーフエコノミスト)	B3	-2				-2	-1		-2
P・クルーグマン (プリンストン大学教授)	B3	+1	+1	-2	-1				
竹中平蔵 (慶應義塾大学教授)	B3			-2	-1			-2	-1
森永卓郎 (独協大学教授)	B3	+1		-2	-1	-1	-1	-1	-1
A・グリーンズパン (前FRB議長)	B3	+1	-2	-2	-2				
田中直毅 (国際公共政策研究センター)	B3			-2	-1	-1	-1		
武者陵司 (ドイツ証券副会長)	B3	-1	-1	-2	-1	-1	-1	-2	-1

論理	III インフレ目標について		IV 財政出動について		平均 (小数点以下 第3位を 四捨五入)	
	07~	一貫	07~	一貫		
			+1	+1	+2	+1.29
+1	+1	+1	+2	+1	+1	+1.20
+2	+1	+1	+1	+1	+1	+1.17
						+1.14
+1		+1				+1.11
+1	+1	+1				+1.09
+1	+2	+1	+1	+2	+2	+0.90
+2	+1	+1		-1	-1	+0.75
+1	+1	+1	+1	+1	+1	+0.56
+1	+1	+1	+1	+1	+1	+0.43
+2	+1	0	+1	-1	-1	+0.33
+2	+1	+2	+1	-1	-1	+0.31
+1	+1	+1				+0.20
+2	+1	+1	0	-2	-2	+0.14
+2	-1	-1	+1	-1	-1	0.00
+1	0	+1	+1	-1	-1	0.00
+2	+1	+1				-1.67
+1	-1	-1	0	-1	-1	-0.50
+1	+1	+1				-0.57
+1	-2	-2	+1	-2	-2	-0.70
+1	-1	-1				-1.00
-1	-1	-2				-1.00
						-1.25
						-1.25
						-1.25

※ I、IIは各年代の予測の当否、及び一貫性を評価した。
III、IVはそのテーマに関する以前からの論理性と07年以降の論理性の評価、及び一貫性を評価した。

●格付けの意味(ムーディーズ型)

投資適格	格付け	説明	スコア
投資適格	Aaa	きわめて優れている	~0.76
	Aa1	総合的に優れている	0.75
	Aa2		~0.51
	Aa3		
	A1	元利支払の確実性は認められるが、将来、安定性を低下させるようなことが起こる可能性がある	0.50
	A2		~0.25
A3			
中級と判断される	Baa1	中級と判断される	0.24
	Baa2		~0.00
	Baa3		
不確実な要素を含むとされる	Ba1	不確実な要素を含むとされる	-0.01
	Ba2		~-0.25
	Ba3		
好ましい投資対象としての適正さに欠ける	B1	好ましい投資対象としての適正さに欠ける	-0.26
	B2		~
	B3		

た。今回、同様の試みを行なうのは、サブプライム問題に端を発した世界同時不況についての経済論争を、できるだけ分かりやすく整理して読者に提供し、議論の混乱を少しでも低減したいと思うからである。もとより、完璧な格付けがきわめて難しいことは、まさに今回の「サブプライム問題」で明らかになったとおりだ。

今回は「I米金融崩壊の予測」「II日本経済の浮沈予測」「IIIインフレ目標について」「IV財政出動について」

25人採点

金融危機を予測したのは数人だけ。恐慌でわかつた本当の実力

竹中平蔵・A・グリーンズパン・金子勝
中谷巖・P・クルーグマン・高橋洋一・R・クー

役に立つのか エコノミストは

ひかしたに さとし
東谷 暁
ジャーナリスト

ふたたび、エコノミストたちの季節がやってきたらしい。テレビを見ても雑誌を開いても、経済学者や経済評論家がこの世界同時不況について、あれこれ論じているのを目撃する。しかし、その一方で「彼らの話を聞けば聞くほど、かえって何が起ったのか分からなくなった」との声も日増しに高まっている。

かつて本誌は、九九年と二〇〇一年にエコノミストの格付けを発表し、幸いにも多くの読者に読んでいただ

